

R4.5.13 スキルアップ動植物探訪（ブリティッシュヒルズ敷地内）



もぐらの穴

無数の穴が点在。ちなみに溝付近に穴が多くみられるのは腐葉土など栄養分を多く含むため。



ウスベニチチコグサ

田畑や道端でよく見かける。全体に白色の軟毛を布き茎は根元から横に分岐。



ホオジロ

「ピピピピ」という鳴き声の特徴。ウグイスの鳴き声もたくさん聞こえました。



キビタキ

県の鳥でもあるキビタキがあちこちで鳴いていました。

※両写真ともネットより

R4. 5. 13 スキルアップ動植物探訪（ブリティッシュヒルズ敷地内）



エンレイソウ

3枚だけの葉が特徴的。
延齢草と言われ、昔は薬にも使われていたが、逆に毒もあるとのこと。

※花の写真はネット引用



ミミコウモリ

コウモリの羽根の格好に似ていることから命名。



ユキザサ

花びらも雄しべも純白。形が雪の結晶のように見えることから名が付いた。

※花の写真はネット引用

R4.5.13 スキルアップ動植物探訪（ブリティッシュヒルズ敷地内）



ネイチャートレイルロード
ブリティッシュヒルズの外周にはこのような小道が整備されています。左側土塁沿いに電気柵が張り巡らされています。ちなみに一昨日熊が出たとの情報あり、皆で歌を歌いながら歩きました。



ゼンマイ (中央)
その周りは「シケダケ」。



オオバクロモジの木
樹皮や葉には、柑橘系に似た特有の芳香成分があり、以前は高級爪楊枝として茶席の和菓子などに添えられていた。ちなみに、下部分は冬期間のうちに鹿の食害にあった様子。

※花の写真はネット引用

R4.5.13 スキルアップ動植物探訪（ブリティッシュヒルズ敷地内）

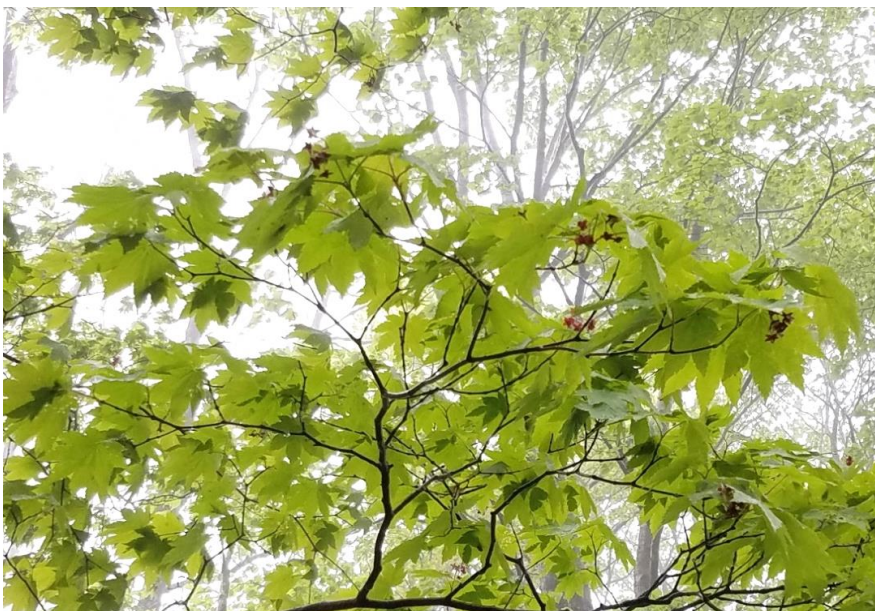


ウルイ（オオバギボウシ）
葉の色がウリ類の葉の色に似ていることからウリナが変化してウルイになったと言われている。併せて湿地に生え、葉柄に水分が多いため潤いから来た説もある。



レンゲツツジ
蕾の状態でしたが、花は赤い朱色やオレンジになる。
有毒なので鹿も食べない。

※花の写真はネット引用



ハウチワカエデ
赤い花が咲き終えないうちに果実ができてはじめる。

葉を天狗の葉団扇に見立て、名がある。

R4.5.13 スキルアップ動植物探訪（ブリティッシュヒルズ敷地内）



展望台（標高955m）

今回は素晴らしい雲海でしたので
晴れた日の写真をご覧ください。

※写真はブリティッシュヒルズHP
より拝借しました。



ミズメ

樹皮を傷つけると水のような樹液
が出ることから名付けられた。
枝を折るとサリチル酸メチルの
匂いがある。シップの匂い。



リョウブ

樹皮が剥ぎ取られ丸裸状態。
シカによる食害があちこちで
見られます。

湯本ではさるすべりと呼ば
びます。

ふつうサルスベリという
別の木のことを指すので注意

R4.5.13 スキルアップ動植物探訪（ブリティッシュヒルズ敷地内）



オオイタヤメイゲツ

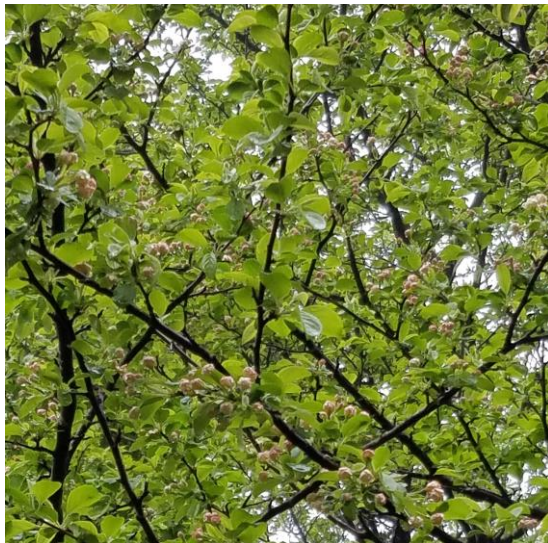
カエデの一種。イタヤは茅葺きの屋根のように規則的に並ぶ葉の様子から、メイゲツは葉の丸さから来ている。

翼果ブーメラン型の果実ができ、秋に熟すと回転しながら飛んでいく。



ヒトツバカエデ

切れ込みの無い一枚葉であり名前もそこから来ている。



カイドウズミ？（現在調査中）

蕾は深紅色で開きかけるとピンク色で先進と白い花となる。



※花の写真はネット引用

R4.5.13 スキルアップ動植物探訪（ブリティッシュヒルズ敷地内）



今回もブリティッシュヒルズ
全面協力の元、尾根トレイル
・展望台・東トレイル・南
トレイルなどネイチャートレ
イルゾーンを散策しました。
前回の秋の表情とはまた違っ
た形に出会えました。



ブリティッシュヒルズでは、
写真のように本も出版販売さ
れています。四季折々の種子
植物を中心に、キノコや蝶、
ほ乳類など写真付きで解説さ
れております。なお環境省の
レッドデータブックに掲載さ
れている希少植物も自生、
ぜひまた違う時期に訪れて
みたいです。